

刊行にあたって

本市には、東京湾に唯一残った自然干潟である盤洲干潟や上総丘陵の緑豊かな森林など、これまで大切に守られ、受け継がれてきた多くの自然があります。

このような恵まれた自然環境は、次の世代に責任を持って引き継がなければならない貴重な財産であります。



本市では、木更津市環境保全条例の基本理念の実現に向けて、平成15年3月に木更津市環境基本計画を策定し「未来につなぐ 環境にやさしいまち きさらづ」の実現をめざして各施策に取り組みました。

平成28年3月には、社会の経済情勢の変化や環境行政を取り巻く状況に的確に対応するため、平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間とする「第2次木更津市環境基本計画」を策定し、長期的な将来を見据えながら、環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

また、SDGsが国連で採択された翌年となる平成28年に、人と自然が調和したこのまちを持続可能なまちとして、次世代に継承していくため、「木更津市人と自然が調和した持続可能なまちづくりの推進に関する条例」（通称：オーガニックなまちづくり条例）を施行し、環境に配慮した事業活動や暮らし方を奨励するなど、自然環境の保護・保全に取り組んでいます。

今後も、地域一体となり、環境にもやさしく人と自然が調和した持続可能な未来を創りたいと考えておりますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

このたび、これまで本市が実施した施策や調査した結果などをとりまとめた「きさらづの環境」を作成いたしました。

ご一読いただき、本市の環境問題に対するご理解を深めていただくとともに行動していただければ幸いです。

令和5年9月

木更津市長 渡辺 芳 邦